

# あけびだより

No. 237

2024年7月1日発行

URL <http://www.akebi.or.jp/>

## パーキンソン病市民公開講座 in 姫路に参加して

主催 日本メドトロニック株式会社 5月25日

患者さんや医療従事者など110名の方が参加され、有意義な時間となったので一部ご紹介します。

まず、「パーキンソン病の内科的治療と今後の展望」と題して兵庫県立リハビリテーション西播磨病院の丸本浩平先生の講演がありました。

みなさんは「フレイル」という言葉を聞かれたことがありますか？フレイルとは体力や気力の余力が減り、心や体、社会的な機能が低下した状態をいいます。長期的放っておくと要介護状態になる危険性が高くなります。

パーキンソン病患者の3分の1はフレイルを合併している

と言われていています。フレイル対策をする事で転倒や認知機能障害、介護度、施設入所を減らせます。

じゃあフレイルにならないためにはどうすれば？それはリハビリと食事です。週2～3回の継続した筋力トレと十分なエネルギー摂取です。特にたんぱく質を意識してみましょう。1回の食事量の目安は主菜(たんぱく質)が片手一杯、副菜(野菜や汁物)片手一杯、主食は片手1.5杯だそうです。みなさんこの機会に食事も見直してみたいかがでしょうか？

「薬を飲む→動ける時間にしっかりリハビリ→十分なエネルギー摂取」

このサイクルを心掛けてみましょう。シニアはフレイル対策！パーキンソン病もフレイル対策！

講演2部は倉敷平成病院の牟礼英生先生による「パーキンソン病の外科的治療の最新情報」として主にDBS(脳深部刺激療法)についてのお話でした。

長期間パーキンソン病薬を内服することで薬を内服してもすぐに効果が切れてしまう(ウェアリングオフ現象)や薬を内服すると不随運動が出現する(ジスキネジア)にDBSは有効な治療法です。DBSは脳の特定の部位に電極を留置し、胸には刺激装置を埋め込み、リードを繋げて電気刺激し脳内の異常な回路を正常に近づけようとする外科的治療です。

講演の中で薬物療法だけのグループと薬物療法に加えてDBSを導入したグループを比較したとき、認知機能低下、施設入所、幻覚が5年遅れたというデータが紹介されました。この結果を皆さんはどう思われるでしょうか。手術をしたとしてもたった5年かと思うか、5年もいい時期があるのかと思うのか、受け取り方は様々です。DBSは比較的安全性が高いと言われており、現在は早期のDBS導入は効果が高いとも言われています。脳の手術をするということは少なからず体への侵襲もあり不安も伴うものです。自分の症状や適応などしっかり主治医と相談し適切なタイミングで自分に合った治療を選択できるようにしたいですね。

そのためにも、みなさんの小さな疑問や漠然とした不安に耳を傾け寄り添えるよう私たち医療従事者も新しい知識の研鑽に励んでいきます。

(訪問看護 T/M)



認定・特定非営利活動法人あけび

認定・NPO法人あけび 事務所

TEL 079-262-6702 FAX 079-262-6703

グループリビングあけびの里

TEL 079-262-6707 FAX 079-262-6703

〒672-8064 姫路市飾磨区細江473-10

Mail: day@akebi.or.jp

通所介護施設デイサービスあけびの実

〒670-0804 姫路市保城363番地の3

TEL079-280-6931 FAX079-280-6932

Mail: akebi-no-mi@akebi.or.jp

通所介護施設デイサービスあけびの輪

〒670-0952 姫路市南条1丁目101-1

TEL079-284-0055 FAX079-284-0056

Mail: akebi-no-wa@akebi.or.jp

訪問看護ステーションあけび

〒672-8064飾磨区阿成植木836番地A号

TEL 079-262-6708 FAX 079-240-6765

Mail: houkan@akebi.or.jp

訪問介護ステーションあけび

〒672-8064 姫路市飾磨区細江473-10

TEL 079-262-6702 FAX 079-262-6703

Mail: akebi-herupa@akebi.or.jp



## あけびの実



## ♪トライやるウィーク **トライやる**

増位中から5名の生徒さん

が来られ、初日は緊張もあり表情も硬かったのですが、2日目からは業務や利用者様のお名前を覚えたり真剣に取り組む前向きな姿が見られました。お誕生会の運動会では率先してジェスチャーゲームを考え披露し盛り上げてくれました。最終日は涙のお別れ会。短い期間でしたが、利用者様、職員にとっても、貴重で有意義な時間を過ごすことができました。



### ♪キルト展

今年もイーグレ姫路まで出掛けました。どれも素晴らしい作品に癒されました。

### ♪七夕飾り

今年も藤原様と娘様のご自宅がたくさん飾りを作って下さいました。有難うございました。！皆さんそれぞれに短冊にお願い事を書かれました。

### ♪7月の壁面制作

～アサガオ～

今月は初夏に咲き始めるアサガオです。簾とカラフルなアサガオ、梅雨でも涼し気ですね。



### ♪レク各種

将棋、風船バレーなど午後からはお好きなことをされています。



♪俳句： 坂田辰彦氏  
手をつなぎ  
昔 恥ずかし 今 介護  
夫婦して  
苦楽語り 介護道



# ウィーク

★今年のトライやるウィークは、**山陽中**から男子1人が来てくれました。初めは1人で大丈夫？と心配しましたが、毎日元気な笑顔で利用者さんとミーティング・リハビリ体験・レク・ルネス卓球など交流されました。最終日に手紙を送ってくれ、その健気な内容に涙される利用者さんたち・・・。若さって素晴らしいですね！

## あけびの輪



### 【トライやるウィークの生徒さんの手紙】

デイサービスあけびの輪の皆さんへ  
 まずは1週間ありがとうございました。  
 僕にとってこの1週間とても貴重な経験になりました。  
 優しく接して下さったり、風船バレーやアイスホッケーなど楽しい遊びに参加させていただいたり、1週間毎日が楽しかったです  
 僕はこの事業所に来てとても楽しかったなと感じました。  
 将来、この経験を活かして何かに役立てたいです。  
 ありがとうございました。 高橋 力



### ★今月の誕生会は、加古川から

『ら♪マロン』さんにきていただき、マンドリンとクラシックギターの二重奏をしていただきました。昭和の懐メロのオンパレードと、軽妙な漫談♪歌って笑って、楽しいひと時でした。



### ★ちゃぶ台返し

朝のミーティングで父の日の話題が。「昭和のドラマではお父さんのちゃぶ台返しがよく描かれていたよね。」そこで、スタッフ手作りのちゃぶ台返しゲームを楽しみました



★今月のちぎり絵と俳句は七夕を題材に、俳句は浅山久志さんのロマンティックな句です。

【星空の川を挟んで二人きり  
 そっと交わした短冊の笹】

【会いたくて  
 もう一年生きのびる】  
 石井千恵子



### ★訪問看護ステーション

あけびのリハビリスタッフに来てもらい、体験をしてもらいました。専門家の指導はより説得力があり、利用者さんも一生懸命にされました。





# グループリビングあけびの里

## 訪問看護ステーションあけび

## 訪問介護ステーションあけび



橋本幸子氏

松下啓子氏

田中千満氏



竹野律子氏



松村勝芳氏



新村由佳氏

### パーキンソン病友の会 姫路ブロック

#### \*7月患者・家族交流会

【日時】 7月21日(日)13:00~16:00  
【場所】 あけびの実  
【会費】 1家族 500円  
【連絡先】 TEL280-6935

#### \*全国パーキンソン病友の会兵庫県支部 第38回定期総会

【日時】 7月7日(日) 10:30~12:00  
【場所】 神戸市立総合福祉センター

### お知らせ

#### 医療相談会

西播磨病院  
水田英二先生  
日時: 7月27日 [土]  
13:00~ (要申込)  
場所: あけびの実



#### 「卓球クラブ」7月練習日

7月2日(火) 16日(火)

場所: ルネス花北体育館  
持物: 上靴・ラケット

連絡先(280-6931)

### お薬勉強会

富山の「デイサービス地球の子」の中川様による、お薬や患者・家族のQOL向上のための勉強会を開催いたします。是非ご参加ください。

中川様とあけびとの関係をご紹介をさせて頂きたいと思います。

地球の子 中川さん

全国パーキンソン病友の会金沢大会に姫路から初めて参加した時のことです。

中川さんは分科会のリーダーとして参加されていました。彼女の介護論に驚いた姫路の患者さんは、姫路では初めての学習会を計画し中川さんにも参加していただきました。

2004年2月「介護者がつぶれない介護を求めて」と題し和歌山の近藤先生の講演会を行い富山から和歌山からと多くの患者・家族の方が集まりました。富山とあけびとの交流が始まった時です。

また、富山のNPO法人難病ネットワーク富山の代表として活躍もされていました。

この時には、全国難病センター研究会第9回研究大会が「自立と共生からケアを考える」というテーマで、パネルディスカッションが開催され、富山のNPO法人「この指とまれ」の惣万様、秋田の「熊代山本訪問介護ステーション」の山崎様そしてNPO法人「あけび」から林がパネラーとして参加し、開催されました。

2009年全国パーキンソン病富山大会では「男の介護」がテーマになりました。

パーキンソン病の介護を考える時ふと彼女の顔が浮かんでくるのです。若い彼女がパーキンソン病の父親を一人で介護するのに色々思うことがあったでしょうが、私にはいつも「じっちゃん可愛いよ」と電話の向こうで笑って介護をしている姿を思います。

実父を自宅で看取った後は、介護をする中で学んだこと、友の会の中での学び難病ネットワークで発表した多くの経験を皆様伝えていこうとされています。

患者・家族の経験からの報告は多くの学びを得ることが出来ると思います。

【日時】 2024年9月15日(日) 10:00~15:00

【場所】 デイサービスあけびの実

【会費】 昼食を申し込まれる方は実費をいただきます。

【持ち物】 お薬手帳

【申し込み・問い合わせ】 079-280-6931

あけびの関係者、友の会の方、職員等勉強したいと思われる方は是非お申し込みください。